

特大号 1万円の極上温泉

万座、上諏訪、高湯、霧島など

旅行読売

2016 **2**
特別
定価 **550円**

オトナの旅の道しるべ

1万円の極上宿

後悔させない自慢の温泉

読者特典付き!

6号連続特別付録

温泉MAP

甲信越、静岡編

- ▶ 日本酒 旨さ新発見
- ▶ 「真田丸」を旅する

50th
創刊

【写真】日進館(群馬・万座温泉)

昭和34年6月29日第3種郵便物認可 通巻816号
2016年2月1日発行(毎月1日発行) 1日発行

周辺観光

諏訪を彩る光の祭典

諏訪湖の花火大会のシンボル「湖上に咲く水上スターマイン」をイメージしたものなどを中心に、約5万2000個の電球(LED)を使ったイルミネーションが、2月末まで毎夜、諏訪湖畔公園を彩る。点灯時間は17時～21時。

☎0266・52・2111(光の祭典実行委員会)



写真提供/諏訪観光協会



夕食は会席料理



小ざっぱりとした和室



峰望の湯からオレンジ色に染まった諏訪湖を望む



湖眺の湯。ガラス窓の先に露天風呂がある

見られる。御神渡りは、高さ50センチから1メートルの水の道が湖岸から湖岸まで数分に渡って続く不思議な現象で、露天風呂からも遠望できる。湖眺の湯の入浴は5時～10時が男性、15時～24時が女性、峰望の湯は15時～24時が男性、5時～10時が女性。円形をした木造りの露天風呂を備えた貸切風呂(50分2160円)もある。

食事は、諏訪湖を目の前にする2階の食事処でとる。冬の夕食はアンコウ鍋などの会席料理。信州の食材を中心に11品ほどが並ぶ。



☎0266・52・2660
 1泊2食1万950円～(3月18日までの限定) 車 バス・トイレ付き10畳和室など全42室
 ナトリウム・マグネシウム・炭酸水素塩泉、単純温泉 中央線上諏訪駅から徒歩8分/中央道諏訪ICから6分 諏訪市湖岸通り3-2-2

朝食も和食で、オープンキッチンで揚げる熱々のワカサギのフライ、地元産の卵を使った卵かけご飯が喜ばれている。

諏訪湖周辺は湖が凍るほど寒く、1月～2月の最低気温は氷点下10度前後。それだけに空気は澄んでいて、昼も夜も見ていて飽きない景観だ。

文/福田国士

上諏訪温泉 | 長野 |

双泉の宿 朱白

露天風呂のかなた
湖と空がオレンジに染まる

面積13・3平方メートルと信州最大の湖沼である諏訪湖の東岸に立つ6階建ての宿。上諏訪温泉で唯一、二つの源泉をもち、無色透明の単純温泉は「白の湯」、茶褐色でやや濁りのあるナトリウム・マグネシウム・炭酸水素塩泉は「朱の湯」と呼ばれ、最上階の露天風呂付き大浴場に引かれている。宿名もこれらの湯の色に由来する。

大浴場は湖眺の湯と峰望の湯の2か所。白の湯を引く内湯は、どちらも御影石造り。露天風呂は朱の湯を満たし、湖眺の湯は丸いヒ

ノキの桶造り、峰望の湯は寝湯を備えた石造り。どちらの露天風呂からも諏訪湖の広々とした眺めが目の前に広がり、開放感たっぷり。特に対岸に横たわる山々の稜線に沈む夕日の眺めが素晴らしく、好天に恵まれれば湖面と空をオレンジ色に染めるまぶしいほどの夕景が間近に望める。太陽が沈んだ後の余韻も、みごとに赤紫の景色を作り上げ、辺りが闇に包まれると、頭上には満天の星が輝く。夕日の見頃は1月なら16時45分頃、2月は17時30分頃という。

諏訪湖は全面結氷すると、湖面の水が大音響とともに山形に盛り上がる御神渡りという自然現象が

編集部採点



露天風呂から諏訪湖を眺められるとは、なんとも贅沢。

読者特典

夕食時に、日本酒またはソフトドリンク一杯サービス(読者特典は2016年2月29日まで)